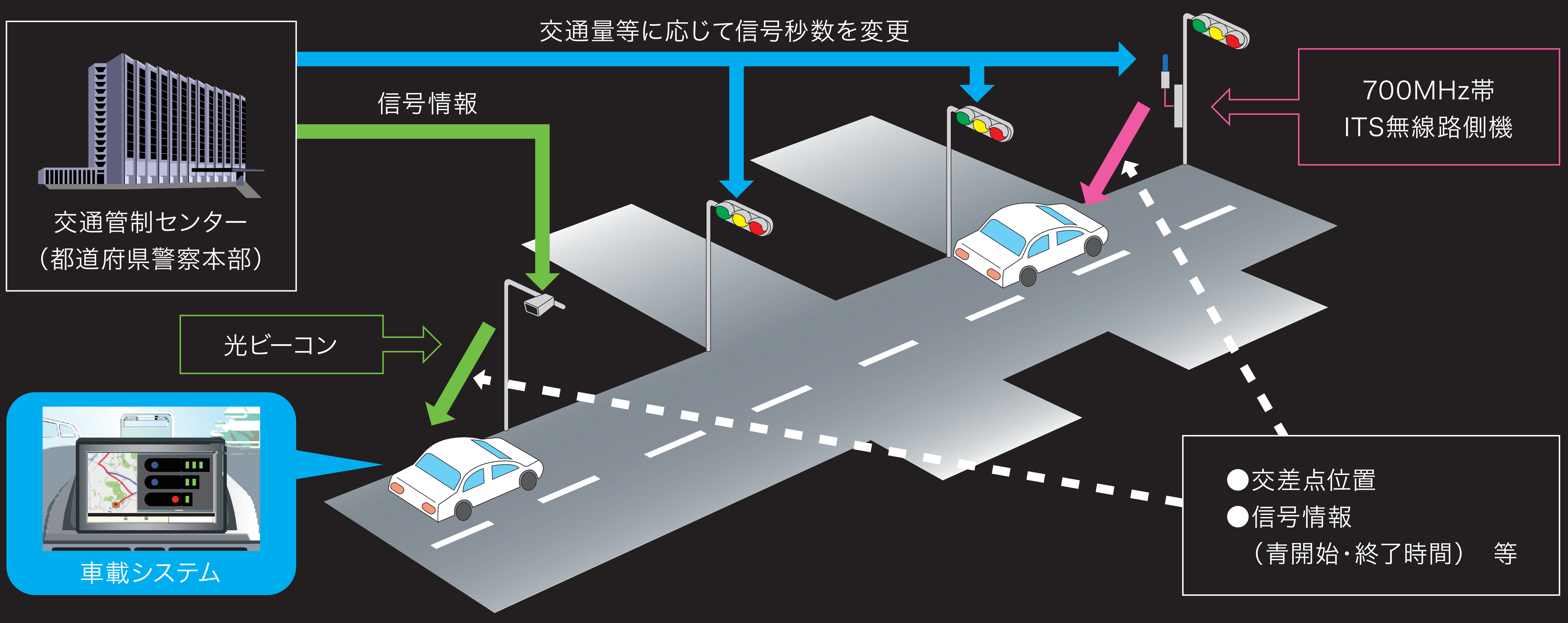
クルマに、信号情報や交通規制情報を提供することにより、安全な走行をサポートします。

信号情報提供技術の高度化、交通規制情報管理システムの整備

信号情報提供技術の高度化

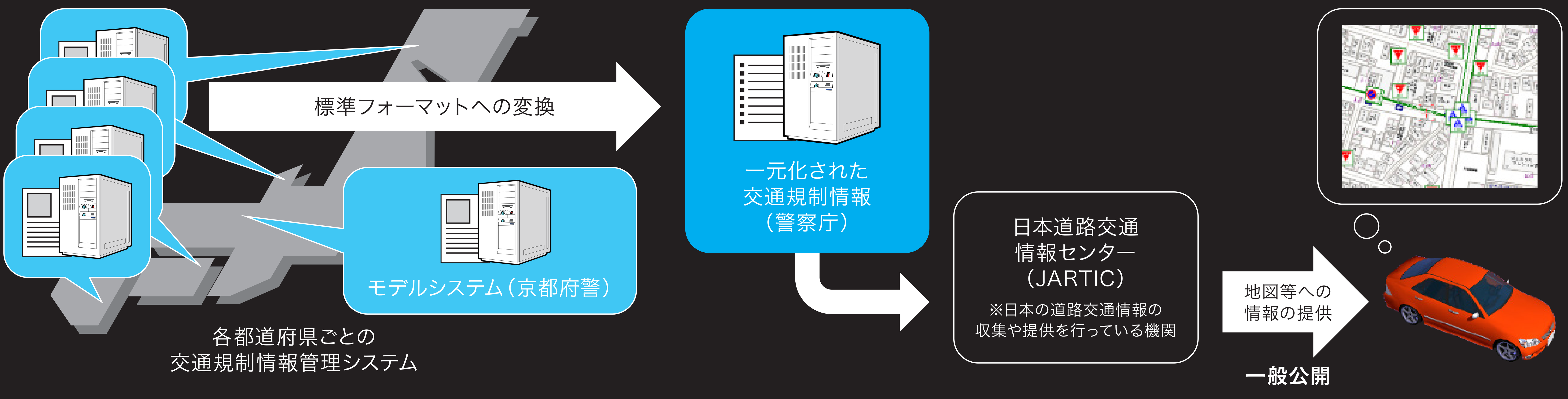
警察庁では、信号情報等を路側機から車に提供する技術の高度化に取り組んでいます。SIPにおける研究で、交差点に設置された光ビーコンに加え、700MHz帯ITS無線路側機を設置することにより、これから通過する交差点の信号情報をより高精度に車へ提供できるようになることが分かりました。



2017年度までに、700MHz帯ITS無線路側機を設置することによる効果検証を行い、シームレスな信号情報を提供できることが確認できました。2018年度は、コスト削減方策の研究に取り組みました。今後とも、自動車メーカー等のニーズを踏まえつつ、自動運転社会を支援する路側インフラに係る更なる研究に取り組むこととしています。

交通規制情報管理システムの整備

警察庁では、各都道府県警察が管理する交通規制情報データを一元的に集約し自動運転車両等に提供するためのシステム構築に取り組んでいます。



2018年度までに、交通規制情報に関する全国統一的なデータフォーマットやシステムの標準仕様書の策定等を行ってきました。これまで一般に公開している交通規制情報は11種別でしたが、2021年度を目途に、103種別の全国の交通規制情報を提供できるようシステム構築等を進めていくこととしています。